

12月25日で浦幌そして十勝の鉄道120年



博物館の窓

第88回

学芸員 持田 誠

浦幌町は、十勝地方でもっともはやく鉄道が開業した町です。それは明治三十六（1903）年十二月二十五日の出来事でした。

当時、釧路から徐々に西へと線路を延ばしていった北海道官設鉄道釧路線が、この日、音別～浦幌間を開業。途中に厚内、浦幌の2駅が、十勝最初の駅として開業したのです。

博物館では、これを記念して、来年の百二十周年までの一年間に企画展示はじめ、さまざまな事業を計画しています。また、お隣の町、釧路市音別町とも交流が深められると良いかと考えています。



十勝最初の駅のひとつ「厚内駅」（1903・明治36年12月25日開業）に停車する根室本線の気動車。